

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

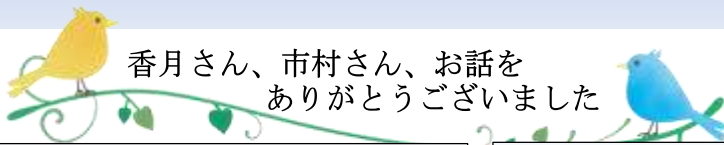
【第 105 号】2020 年 5 月
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL : 03-3383-7800

スキルアップ講座第 4 講は CO 災ボの会員をはじめとした 7 生協 28 人の組合員が参加し、東日本大震災の被災者お二人からお話を聞きました。当時、中学生と高校生で被災され、体験や感じられたこと、その後の暮らしや気持ちの変化など、震災から 9 年たった今だから話せること、聞くことができることがあります。参加者にとり気づきと学びの機会となる貴重なひと時となりました。

報告

スキルアップ講座 第 4 講 2 月 15 日 (土)

3.11 知る、語る、つながる



香月さん、市村さん、お話を
ありがとうございました



司会を務めた
西裕子幹事

香月昂飛(かつきるいと)さんは宮城県石巻市出身。1993 年生まれで被災時は高校 2 年生。地震直後に近くに住む祖母を父と車で迎えに行き、すでに避難されていたので引き返すところを津波に襲われました。小学 5 年生で母を亡くした昂飛さんを男手一つで育てた父の泰志さん。

その命を何とかして助けられなかったかという後悔は今でも薄らぐことはなく、人命救助を任務とする消防のレスキュー隊員になりました。昨年 4 月に女の子の父となり、家族のいる日常をかけがえのないものと感じるそうです。



みなさんに伝えたい一番大事なことは、災害時には「まず自分自身の命を守る」こと、「それぞれ避難できたと家族を信じる」ことです。テレビで地震のニュースを見た時が良い機会です。家族で話し合ってみてください。

市村葵惟(いちむらあおい)さんは福島県富岡町出身。1995 年生まれ、中学生で被災しました。

震災の次の日に川内村へ全町避難、同日福島第一原発が水素爆発、16 日に郡山市のビックパレットふくしまへ全村避難。その後東京に広域避難され、現在は専門学校で学ばれています。

2014 年から 2018 年にかけて富岡まち次世代継承聞き書きプロジェクト「おせっぺとみおか」に参加。2019 年度には今後の展開を考え、プロジェクトのメンバーと共に富岡町での合宿など、まちを知る取り組みにもチャレンジされています。



私は津波や倒壊など実際の被害には遭わずに広域避難者となり、「被災した子ども」として扱われることも無かったので、被災者を語るのは戸惑いを感じることもあります。



おせっぺとみおか

町で暮らしてきた一人ひとりの人生を通して、富岡町の歴史や風景を記録し、未来へ継承していくためのプロジェクトです。富岡町出身の学生たちが聞き手となり、話し手にインタビューし、一字一句を書き起こし、文章にまとめられています。

<https://tomiokakikikaki.wordpress.com/>



少人数のグループに分かれて被災者や被災地と「知る、語る、つながる」ために「自分には、または自分たちには何ができるか(できないか)」を話し合いました。

30 分の話し合いの後、どのような意見が出たかグループごとに発表。また、当時現場では情報をどう入手したかの質問や、お二人の体験が壮絶すぎて想像できないなどの感想もありました。



ファシリテーターを務めた野崎代表幹事より

被災地ではなかった首都圏に住む私たちにとって、被災者から直接聞くことしか体験の再現（疑似）は難しいものです。

今日の参加者はおおむね震災を体験されたお二人と同年代の人の親になるでしょう。今日の話をお子・娘に伝えるとき、親として何ができるか、帰ってからじっくり振り返ってみたいと思います。



参加者アンケートより

- ・体験者からの話は非常に重く受け止めました。
- ・言うことばがありません。二人とも思いがとても熱い！これからの活動が楽しみ。
- ・若い人の話を初めて聞いた。応援のフェーズが変わっていることを感じた。
- ・風化しつつあることが再認識できた。自分のことは自分で守ること。(だけど近所の人も心配)
- ・まずは自分の身を守る、互いに助かる大原則。家族に伝えたい。
- ・フィクションかと思うような体験をお聞きして、疑似体験に近い感覚になりました。知ることの大切さを思いました。
- ・どんな助けより“寄り添う”ことが、力になるということがわかりました。
- ・あの大震災を若者がどう受け止めたかを聞いて良かった。大人の話は何度か聞いたが、自分の意志で動けない子どもとしては大人の判断に従わざるを得ず、時間をおいて心の整理をしていくのだと思いました。
- ・お二人とも大震災で大変な思いをされて、今に至っていらっしゃいますが、人とのつながりの中で助けられてきたように思います。これから地域で人とのつながりを大切にしたいと思います。
- ・心にしみました。大切な人との別れは今すぐかもしれない。大切な毎日、毎時間を生きているんだと思います。話してくださってありがとうございました。

参加者からいただいた香月さんと市村さんへのメッセージは、冊子にまとめ、お二人にお送りいたしました

第 18 回総会について



第 104 号でご案内した「CO 災ボ第 18 回総会」については、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7 月 4 日（土）の通常の総会に加え、会員の書面議決による決議も検討しております。情勢を見ながらいずれかを判断し、6 月初旬に議案書と共にご案内する予定です。

また、幹事の選出については同封しました通り、総会が開催できない場合を考え、事前の立候補を受け付け、幹事名簿を整えて第 3 号議案として提案します。

東京都生協連は 2 月 26 日から主催会議や企画を延期または中止としました。CO 災ボ幹事会も話し合いの上同様に対応してきました。今後の活動については、幹事と事務局で準備を進めながら、活動再開時期を心待ちにしているところです。

落ち着かない日々ですが、2020 年度に向けご協力よろしくお願ひいたします。